

あゆのぼり、ダチヨウの楽園…

ディープな中芸 地図で紹介

住民制作 魅力を再確認



完成した地図を手に中芸地域の魅力を語り合うメンバーら（安田町正弘の「いなかじかん」）

【中芸】中芸5町村（安田町、田野町、奈半利町、北川村、馬路村）の40～50代の住民5人がこのほど、「ガイドブックには載っていない地域のディープな魅力」を紹介する地図を作った。国道55号から安田川と奈半利川沿いに山手に入り、地域をぐるりと周遊できる内容で、地元の人々の恩づかいが感じられる。

発起人は、安田町でカフェや宿泊施設を営む有沢あゆみさん（49）。来店者から主要観光施設以外の見どころを問われることが多く、「古里の魅力を発信するとともに、お客さんとの会話のきっかけになるような地図を作りたい」と仲間呼びかけた。

アウトドア関係やアロマ商品開発の仕事に携わる人ら計5人が集まり、定番の「モネの庭マルモッタ」（北川村）や「馬路温泉」（馬路村）以外にも紹介したいスポットを吟味。

こいのぼりならぬ「あゆのぼり」が初夏に空を泳ぐ場所（安田町）、民

間事業者によるランキングでに行きたい日本のサウナ」に選ばれた「たのたの温泉」（田野町）、丘の上に突如現れるミニ動物園「タチヨウの楽園」（奈半利町）など、25カ所を地図に落とし込んだ。

店や蔵ごとに魅力がある卵巻きや地酒、完全天日塩も紹介。デザインは「自分たちが発見したお気に入り」の場所を書き足していったほしい」との思いから手書き風に。店主の似顔絵にもこだわった。

制作メンバーは「何もない」と言われるけど、意外と遊べる場所がたくさんある」と再確認。有沢さんは「癒やしの場所や地元民のソウルフードなどをぎゅぎゅっと詰め込んだ。これを見れば『中芸通』になれるよ」とPRしている。

3千部を用意。地図中で紹介されている商店などで配布している。地図はインスタグラム「知つちゅう？中芸」からもダウンロードでき、地図アプリとの連動も可能。（深田恵衣）